

令和 7 年度 学校関係者評価及び改善策

( 中間 )

昭和北中学校区 校番 17 学校名 呉市立昭和北中学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切に設定されていると思います。</li> <li>・みんなが少し頑張らないと達成できないちょうどいい目標値になっていると思います。</li> <li>・目標設定は素晴らしいと思いますが、これを具現化する難しさを感じます。</li> <li>・学校教育目標をもとに、めざす生徒像を設定され、生徒の現状を踏まえ、育成すべき資質・能力を考えて設定されており大変良いと思います。</li> </ul>
目標達成のための方策の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・方策についても、いろいろ具体的に考えられていると思います。ただ、それぞれの先生が目標達成のための方策を理解し、実施していかないと生徒保護者の受け取り方に違いが出ると思う。共通認識を持って頑張っていたらいいと思います。</li> <li>・全体を通して適切に方策を設定していると思います。業務改善の教職員の時間外労働については、月80時間を超える教職員の業務分担を検討する必要があると思います。</li> <li>・限られた時間の中で、いかに全体的に上げていくか、しっかり考えられていると思います。</li> <li>・目標にコミュニケーション力云々とありますが、方策にある面接指導だけでなく、すべての場面で表現力の強化が問われていると思います。</li> </ul>
自己評価の結果の分析の適切さ	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・結果の分析は具体的にできており、適切だと思います。</li> <li>・生徒・保護者のアンケートをもとに、達成された項目、達成できなかった項目など細かく分析されて、改善策に繋げているので良いと思います。いろいろ取り組まれて達成できたことは良かったと思います。ただ、達成できなかった理由原因をどう考え、各先生がどう取り組みれば改善できるかということを共通認識として把握できれば良いと思います。頑張ってください。</li> <li>・長時間勤務の削減の中に、時間外勤務の改善が急務とありますが、なにかおさなりのような感じもします。</li> </ul>
今後の改善策(案)の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・結果の分析に対する改善策は適切だと思います。</li> <li>・改善策についても、よく考えられていると思います。小中の連携の中で、改善策を考え今後に生かしていくことも大切なことだと思います。また、生徒の実態は幅が広いので改善策についても、柔軟に取り組めるような方策を考えた方が良いと思います。</li> <li>・キュビナは勉強が苦手な子にとっては一人でどンドンやりましょうというのはかなりの苦行。時間、人員の限られたなかでのサポートは大変ですが、それがないと底上げは難しいと思います。</li> <li>・業務改善で会議や業務の精選を図るとありますが、他方で月2回のケース会議を継続となっていて整合性がとれていないように感じます。</li> </ul>
その他		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々、先生方が生徒と真剣に向き合っておられるおかげで、学校全体の雰囲気は良くなっているように感じました。引き続きよろしく願いいたします。</li> <li>・文化祭を拝見し、素晴らしいと思いました！元気の良すぎる生徒さんたちは全く悪目立ちすることなく、学校全体で静と動をしっかりと使い分けて先生方も生徒さんもみんな楽しんでいうのがとても良かったです！色々新しい試みを実際に行動に移す生徒会素晴らしい！その声を聞き入れる先生方も素晴らしいですね。</li> <li>・全体を通して良くできていると思いますが、今ひとつ何か足りないような気がします。</li> <li>・全員の先生が同じ歩調で取り組むのは、それぞれの力量が違うので難しいと思います。会議の時間もなかなか取れない中で大変だと思いますが、教員同士のコミュニケーションをしっかりと取り、できるだけ歩調を合わせて取り組むように頑張ってください。また、いろいろな家庭環境で育った生徒が居りますので、同じように取り組んでも成果は出にくい面もあることも良くわかります。頑張ってください。</li> <li>・足し算や九九ができない生徒がいることで大変驚かされました。少なくとも将来生活するうえで困らないように、また生徒がいずれ大人となり親となったときどうなるのか、とても不安に感じてしまいました。</li> </ul>

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「結果の分析及び今後の改善策」を教職員で共有し、共通認識をもって取組を進めていく。</li> <li>・生徒会によるキャンペーン活動がとても有効であったので、2学期も生徒会によるキャンペーンを行っていく。</li> <li>・キュビナの活用場面、頻度、内容等、効果的なキュビナの活用方法について各教科で連携しながら進め、生徒が自分に合ったペースで学習できるよう支援していく。</li> <li>・業務改善に向けた協議を年内に行い、メリットやデメリットを検討したうえで優先順位の高いものから取組を進め、生徒と向き合う時間の確保にもつなげていく。</li> </ul>
--------------------	--